

第1回村上市保育園等施設整備計画審議会 会議録

会 議 名	第1回村上市保育園等施設整備計画審議会
日 時	令和2年7月10日（金）午前9時30分～午前11時30分
会 場	村上市役所本庁4階大会議室
出 席 者	委員：14人（仲委員、鈴木委員、斎藤委員、黒子委員、川村委員、黒坂委員、渡辺委員、小川委員、佐藤委員、高橋委員、齋藤委員、本間委員、増田委員、笠井委員）
	欠席委員：長委員
	事務局：中村こども課長、荒川支所地域振興課 阿部課長補佐、神林支所地域振興課 加藤課長補佐、朝日支所地域振興課 玉木副参事（代理）、山北支所地域振興課 大滝課長補佐、第二保育園 永田園長、舘腰保育園 大滝園長、向ヶ丘保育園 齋藤園長、金屋保育園 小林園長、山北そらいろ保育園 板垣園長、こども課 平山子育て支援室長、小林副参事、石山係長、高橋課長補佐、渡邊主任

会議録	
1 開 会	
2 市長挨拶	
3 委嘱状の交付	
4 村上市保育園等施設整備計画審議会委員及び職員紹介	
5 正副会長の選出	
会 長	新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科准教授 仲 真人 氏
副会長	村上市家庭教育支援チーム代表 NPO 法人村上 ohana ネット理事長 渡辺 ひろみ 氏
6 正副会長挨拶	
7 審議会への諮問	

市長から仲会長に諮問書の提出
(市長退席)

8 報 告

- (1) 「村上市保育園等施設整備計画審議会について」事務局から説明
(質問等なし)
- (2) 「村上市の保育園等の現状について」事務局から説明
(質問等なし)

9 議 事

会 長 日程 9 議事に移ります。(1) 会議の公開及び会議録に関する取扱いについてを説明願います。

- (1) 「会議の公開及び会議録に関する取扱いについて」、事務局から説明

会 長 : 今回の会議録について、委員の皆様どなたが発言したかは特定しないような形で公開されるということです。確認させていただきますが、委員の皆様どなたが参加されているかは公開されるということですね。

こども課 : はい。会議録の構成上、この会議に出席された委員の名前については公開するということになります。

会 長 : ありがとうございます。どなたが参加するかは公開する、どなたが発言したかは特定されないという感じです。委員の皆様、今のご説明について、ご質問、その内容では困るという方はお願いいたします。

(質問等なし)

会 長 : 名前は公開されないということですので、忌憚のないご意見で、この会議を活発に盛り上げていきたいと思えます。よろしく願いいたします。では、特にございませんでしたので、「会議の公開及び会議録に関する取扱いについて」は事務局の説明のとおりということで今後進めていきたいと思えます。

こども課 : 会場の換気を兼ねて少し休憩をとりたいと思えますがいかがでございましょうか。

会 長 : ここで休憩を兼ねて換気をしたいと思えます。10時25分まで換気を設けたいと思いま

す。

[10：20 休憩]

[10：25 再開]

会 長：会議を再開いたします。

会 長：次に議事の２番目になりますけれども、「第２次村上市保育園等施設整備計画の改定について」事務局から説明をお願いいたします。

（２）事務局から説明

会 長：本会議の主旨でございますけれども、「第２次村上市総合計画」の中に保育園の統廃合を計画的に進める、混合保育というのは子どもの数が減少して年齢の違う子どもたちを１箇所
で保育をするというわけなんですけれども、本市も人口減少ということで、これまでの保
育園の数を減らしていくということですね。そして施設の老朽化が著しい第一保育園、第
二保育園、山居町保育園についても統合、そして民間の活力導入ということで、これまで
行政が担ってきたサービスを民間に手放していく、ある意味そういうことをしていくわけ
でございます。本会議は如何にして保育のサービスの質を下げずに、この大きな計画に従
って方針を立てていくかということになると思うんですけれども、委員の皆様、今の事務
局の説明について、ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

委 員：真心福祉会さんが新しく保育園を建てるということなんですけれども、この保育園の幼児
の最高収容人数は何名でしょうか。

こども課：定員は１５０名を想定しているそうです。

委 員：今、第一保育園、第二保育園、山居町保育園の統廃合をお考えということだったんですけれ
ども、３園の統合ということでしょうか。定員と合わないのかなと思いますが。

こども課：３園の統合につきましては、１園だとだいたい定員３００名程度、実際に入っている園児
数が２５０名を超えるような大きい建物になります。市としては、３園を２園程度に統合
することで検討を進めておりました。そのうち２園のうち１園につきましては、真心福祉
会で担っていただきまして、もう１園につきましては、この３次計画の中で具体的にどう
いうふうに進めていったほうがいいのか皆さんに議論していただきながら進めていきたく
と考えております。

会 長：私からも確認させていただきます。真心福祉会さんはこの園の開園については既定のこと
と決まっているのでしょうか。

こども課：真心福祉会の方からは、この計画については是非やりたいということでお話をいただきまし

た。市の方で3園の統合を考えていたときに、村上地区のエリアに保育園を運営したいんだというお話をいただきましたので、市の方針とも合うということで、真心福祉会さんの提案について推進させていただきたいという方向になっておりますが、3園全てなくすと児童の数の帳尻が合わないので、3園のうち2園くらいは廃止という形で。ただ、こちらの話につきましても決定という話ではございません。ただそれについて可能な限り実現していこうということで、今こちらのほうで考えているところです。

委員：3園のうち2園をなくして、1園は民間の私立の真心福祉会さんで、もう1園は公設民営化の形ですか。

こども課：公設民営化、指定管理というような形で出したいというところまでは決まっております。ただ方向として、そういうのもあるかなということです。

委員：施設の老朽化の3園について、1園は公設民営化による指定管理で、市が監督しながら民間に委ねる、もう1園が新しい民間の、真心福祉会さんが入って、これまでの保育園3園のうち1園が民間、そして1園が公設民営化も視野に入れて継続する。そういうことですね。

こども課：3園あるうちの2園を廃止すると公立は1園残る、その廃止した2園の代わりに民間の保育園を1つ大きいのをと。残った公立の保育園はどのような運営形態化というとそのままであれば直営になりますし、指定管理ということであれば公設民営というような。どちらにするかはまだ決まっていないということです。

会長：委員の皆様、何かご意見ご質問ありましたらお願いいたします。今は特に手が上がらないようですが、是非ご意見を伺ってみたいんですけれども、市の方向性について保護者の観点からご意見ございますか。

委員：気になったこととしては、設立年月日を確認すると山居町保育園が一番古く、ほか2園が続くとなっているんですけども、第一保育園と第二保育園の開園の時期は1年ほどしか変わらないと思うんですが、そうすると1園は残して2園を統合、新しくするとすると、その1園は今後古い状態のまま残っていくことになるのでしょうか。

こども課：先ほど説明させていただきましたが、3園を2園に統合します。そのうち1園は真心福祉会に担っていただきます。残り1園については、どの園でも老朽化が激しいですので、新しい建物を設置すると同時に進めてはいくんですが、それが民設民営なのか公設民営なのか公設公営なのか、その辺をこれから皆さんに審議していただくことになって行きます。

委員：ということは、新しく2園を設置していくことは決まりということなんでしょうか。新しい園ができて、今の3園が廃止されるという考えでよろしいでしょうか。

こども課：3園を1園にという話になりますと、先ほど説明したとおり、今の定員が300名になるのです。実際に入っている子どもたちは260名程度だと思うのです。そうすると大きい

建物になるので、なかなか運営が厳しいというところで、こども課としては、3園を2園程度、100名から150名程度の保育園を2箇所設置するのが1番いいのではないかと
いうところの話から、こういうふうな計画となりました。

こども課：補足になりますが、本日の審議会で諮問していただきたいのは、第2次計画の見直しと第3次計画の策定でございます。真心福祉会さんの建設、運営、それからそれに伴う3園のうちの2園を配置していこうということについては、令和3年から関係してくる話、運営については令和4年からになりますけれども、建設したいという話は令和3年からという話になります。第2次整備計画の範囲に入る話。それから新たにどうしていくかという話、真心福祉会さんではない保育園を新たに建てていく話につきましては、第3次の整備計画で考える範囲というふうに定義をさせていただいておりますので、まずは第2次計画の一部見直し、これについては真心福祉会のほうで民間の保育園を建てる、これに合わせた第2次計画の一部の見直しが必要、それがすみしたら、第3次、令和4年度以降の整備をどんなふうにしていこうか、それについては、村上地区の保育園、今は3園ありますが、真心福祉会の保育園ができることによる統廃合、これに限らずですね、他地区にも保育園があるわけですが、それらとの兼ね合いでもしかしたら、もっと広範囲での統廃合というのが必要になってくるのかもしれない。そういったことも含めて第3次のほうではご審議いただければというふうに思っております。

委員：第2次では真心福祉会さんの園を申請するかどうかの部分まで。

こども課：基本的には一部のみの改定という形で考えております。

会長：他に何かございますでしょうか。

委員：第2次整備計画で真心福祉会さんが設立される保育園は、どこどこが統合されるのか、そういう内容を審議していくということなのでしょうか。

こども課：具体的などという形にはなりますけれども、そこまで標記するにはところにはいかないかないと。民設民営を進めるんだという標記を加える形なのかなと。具体的にですね、じゃあどうなるのかというイメージなんですけれども、定員のことを考えると、第一と山居町を廃止して第二をとりあえず残すというのが数では妥当なのではということでございます。

委員：一点お願いいたします。今日初回の会合でございます。そして今話題になっている資料を基に説明いただきましたが、たくさんの次元の違うことが飛び交っていて、もう少し委員がイメージが沸きやすいような資料があると皆さん理解ができるんじゃないかなと思っています。どこにも3園を統合して新しいものを、4園できるけども人数がどうだから二つが良さそうだと、どこにもそういうことが書いてないのですよね。だから、そういうことも想定されるし、定員の数で300人全部いるんだが云々というのもこの資料にはなく、話が進んでいるのかなと思っています。どこまでが決まっていて、今この会でどこについて話し合いを

すればいいのかというのが、事務局の方は分かっているのかというような話の流れで話されているんですけども、委員そのものがよく分からないのかなと。私もそうですし、他の方々もそうじゃないのかなと思って発言をさせていただきました。次回会議からでもいいと思うので、ここについて意見をもらいたいという、あるいはそれに当たって知っておく決定事項はどれである、既に決定されているのはどれであるというあたりのがあると、それを踏まえて今から改善できる、こうしてもらいたいという要望なども出せるのではないかなと思って発言させてもらいました。間違ってるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

こども課：イメージが沸かないな、伝わらないなということで、第2次計画の中で今回どのような議論をお願いするのかというと、第2次の見直しにつきましては、限定的にこちらの文を見直したいんだというふうな、私どものパンフがございますので、今資料を配布させていただきます。

(資料配布)

こども課：お手元に「第2次村上市保育園等施設整備計画変更箇所一覧」改定前改定後の資料をお配りいたしました。アンダーバーのところ、左側改定前、平成28年11月に改定した時点でございますが、具体的な整備計画、村上地区のものが書いてありますが、アンダーラインの引いてある文章が「公設民営化に取り組みます。」となっております。今回真心福祉会の保育園の建設計画を推し進めたいんだという市での考え方からすると、公設民営化だけでは足りないわけです。そこでこの一文に指定管理者制度の導入、民設民営化などの民間活力の導入に取り組みますというふうな形で、この部分だけ第2次整備計画は直したいと。これで民設民営の取り組みも進めるんですよということを第2次計画において、第2次計画はここまでの議論で終わり。あと、第3次計画で廃止される保育園とか、残るけれども残る保育園をその先どうして行くのかどうか、他地区との兼ね合いをどうしていくのか、そういった課題のものは第3次計画全般の中でお願いしたいというふうに考える。ですので、第2次の見直しにつきましては限定的な形での見直しということになります。よろしくお願いいたします。

委員：確認なんですけども、私聞き漏らしたかと思うのですが、別紙にある社会福祉法人、この会が、所謂民営化で保育園を建設するということを市は容認しているということなのでしょうか。これに委託するために、所謂2次計画の改定をしないと民営化というとはなっていないので、これに合わせるために改正をするという意図なのでしょうか。これは既に決まった話なんですか。真心福祉会に所謂建設を依頼しているというのは、そういうふうな決まりなんですか。

こども課：事業として決定されているということではありません。ただ真心福祉会の方が是非やりた

いと。それは村上市のほうでも3園の統廃合はやっていかなければならない。この意向は同じ方向を向いておりますので、なお民間の保育園を建設する際に、国と県のほうからの支援が結構ございまして、市が行うよりは有利に事業展開できるというところもございします。そういうこともありまして、民間の保育園建設について市のほうでは推し進めていきたいということです。ただし、この事業自体は市がお願いしているものではなく、あくまで真心福祉会さんのほうが他の市町村で保育園を運営しているという場合もあるんでしょうけども、村上市でも是非保育園運営を行いたいということでお話が来たところでございしますので、それと市の意向がこの度あったので推進していこうという立場に村上市になったわけです。それによって第2次計画の文言を直していただきたいと思ひまして、それから大きな意味での第3次計画の策定、それを今後公開していくという流れになっております。

委員：社会の流れでこういうふうなことになるのかとは思いますが、当初1次の計画では指定管理を導入して、統廃合を行いたいというふうな意向で第2次整備計画を立てたと思うのですが、それが完結しないうちに所謂民間主導でやりたいという方向性を持ったところできたというふうなことで改正をしないとそぐわないと。ですけれども、真心福祉会が提案していることをやったとしても、またそこに委託するかどうか決まっていはいないんですよ。

こども課：今公立の保育園で3園をやっていると、その3園が老朽化していて、それを統廃合しなければならない2次計画がありますよと、そこに今回真心福祉会が出てきました。真心福祉会曰く150人定員の保育園を作りたいと言っていると、ということなのでそれに伴う市の残りの保育園の分の定員の整理、先ほど廃止、廃園の話も出ましたけれども、その定員を整理しながら需要と供給のバランスを真心福祉会の保育園ととっていきたいというような考えでございします。

委員：そうするとですね、そういうふうな同じ考えをする法人だけでなく、普通の民間でも教育事務をやっているような状況がありますよね。そういう人たちの参入も認めるような形になっていくんですかね。

こども課：そういう提案があれば入ってくるような。保育全体の中では民間の保育園も含めて行政のほうで管理をいたしますので、民間の保育園が入園も含めて自前でするんだよと、そういうことではございませんので、保育計画の中で公営民営という形で行政のほうで割り振っていくという形になっておりますので私立保育園というものであっても市のほうでの定員管理と云うことです。

委員：あんまりよく理解できないんですが、委託するのは市なんだと、市の主導でやるということなんですよ。

こども課：建設のほうは民間のほうでやるのですが、それ以外のものについては市が管理主導性があるということでございます。現場の管理のほうで民間と言うことであります。

委員：そもそもなんですけれども公設民営化と民設民営化の違いを教えてくださいたいのですけれども。

こども課：公設民営化というのは、公で設置して民間で運営する。ちょっと前と言うと業務委託というようなことになるんですけども、今ですと指定管理者制度というもので、民間の会社とか団体にその施設の運営を任せるといものが指定管理者制度であります。ですから民設民営は民間で設置したものを民間で運営するということで、この度の真心福祉会で提案しているものになります。

委員：そうすると、どちらにしても運営は民間がされると、今後村上市さんがどこまで管理をされるのでしょうか。去年だと村上市に保育園に入りたいですよという票をだして、村上市さんが家庭の事情を鑑みて保育園に入る入らない、この人はどこの保育園にと言うことになると思うんですけれども、どこまでを村上市さんがやられるということになるのでしょうか。

こども課：入園につきましては、今までどおり保護者の方が市に入園の申請を出してくれるという流れになります。市の方でご家庭の状況に応じまして入園調整をいたしまして入園決定をするという流れになります。

委員：特に保護者とか園児からした保育園の入園方法というのは変わらないのでしょうか。

こども課：利用方法につきましては今のまま変わらないという考えでございます。

委員：質問させていただきます。建設予定地の場所の決定なんですけれども、予定地と書いてあるが決定ではない、なぜかと言いますとかなり三面川に近い場所になりますハザードマップ上大丈夫なのか不安が残ります。近年九州であつたり大きな災害がありました。数年前には三面川もかなり水位が上がっておりいよいよ氾濫かと言う危険性もあり、ここ数年はかなり水害に対する流れが多くあるのですが、ここは三面川にも歩いて数分の場所になり、ここは果たして適切な、ハザードマップであつたり水害に対する影響を考慮する上でこちらを決定されていたのか。そういったところの結果を教えてくださいたいと思います。

こども課：まず、この5月に新しいハザードマップができまして、この一帯は1000年に一度と言う割合ではありますが、5m～10mの水位になるのではないかというふうなエリアになります。5m～10mというのはなかなか難しいんですけれども、これについて建物、ハード、こういったものでクリアしようというのは非常に現実的な話ではありません。現実的なことはどうなのかと言うと、もう避難をどうするかということではありますが、川の氾濫の水害ということに関しましては、氾濫するまで見て待てということではなく、事前にかなり早い段階での退避するんだというのが大前提でございます。ですのでこのエリア一帯ではやはりそういう形で、建物を丈夫にするだとかそういうことではなく、いかに早く退避するかとそういうこ

とが重要になるんだよというふうに捉えているところでございます。当然法人さんのほうにもそういうエリアですよということは十分にお知らせしておりますので、そこは重々承知の上で避難をきちんとするという考えでということでございます。

委員：今の見解ですと、災害が万が一起こったとしても園児さんたちは安全に避難させられる、若しくはそもそも園に来ない、運営でカバーできるというお話ですよ。

こども課：そもそも被害が起きる前に避難してしまおうというぐらいの考えでございます。

委員：もうひとつです。その園児さんは分かりました。ただ建物ですね、せっかく建てた建物がやはりこの被害で使えなくなるわけですよ。そうするとその預けてるお母さんたち、例えば災害が起こったりして仕事にも行けなくなってしまう人も、ただ建物が被害にあっているために預けられない、預け先はどうするんだという問題が必ず出てくるわけですね。そうなった場合に、そもそもその建設予定地自体に、ハザードマップにかかっているところではなくて、もっと別のもうちょっと海拔の高いところ、そういったところである程度水害が起こったとしても建物の被害が起きない場所を選択する、そういったことは考慮しなかったのか。ここの土地は結構空いてますからたまたま飛びついてしまった、もう少し行けば坂の上、もう少し高い場所ですが、そういったほかの選択の余地はなかったのかなと、建物自体もある程度被害を、高いところを選択するような考慮はなかったのかと思ったのですが、そのあたりはどうでしょうか。

こども課：村上地区のこのエリアにつきましては、ほぼ全てが浸水区域というような形になります。まるっきり白い部分を探すと言うのであれば、山辺里地区ですとか他の地区、神林地区とか朝日地区を目指していかないとなかなか難しいという現実的なところもございましたので、その辺を考慮しての選定なのかなと思います。

委員：人的被害若しくは建物の被害を少しでも、せっかく建てるんだからこっちの被害を少しでもないところに建てたほうがよかったのかなと思い質問させていただきました。

委員：先ほどの委員の意見の確認をさせていただきたいのですが、この会議、第2次の整備計画の範囲内としましては、公設民営化であったり民設民営化であったりその是非を問うことができるという範囲でしょうか。それとも、先ほども出てきたんですけども、これはもう行くんだと。入ったばかりでこれまでの業務で私もお説明だけでは分からなくて、他の委員もそのことを聞いたのかと思います。是非その辺をしっかりと明確にしていいただければと思います。

こども課：こちらのほうといたしましては、民設民営化とうものを第2次計画に盛り込みたいんだということでもあります。ですのでその方向で皆様にご協力をお願いいたします。

委員：ご協力をお願いしたいというのは、我々はそれはちょっと困るよというのも認めていただけるという形ですか。

こども課：認めないと言うと非常に変なことになりますのでそうは言いませんが、ぜひとも認めていただきたいということでございます。私どもがその発言は認めませんと言うわけにはいきませんので、今の件につきましては、民間の保育園の建設、それについては話は戻りますけれども、そもそも新潟県の保育園の数というのになりますけれども、村上市ではこういった保育園の民間の施設で初めてなんです、県内では4割近くが民間保育園なんですね。ですのでもなるべく早い、通常ある施設という位置づけに考えられるので、公設民営化という意味では民間の運営に多少の不安がある方はいらっしゃいますことは事実です。荒川の保育園とかですね、神林の保育園もですね、公設民営化に向けて事業者を選定している。そういった形で民間のほうに流れていくというのがございますので、こちらについてもそういう原案があるということで新たにそこに民設の保育園も設ける、計画の中に使われていくということで、この2次計画の表現を改めたいということでございますので、こちらについて皆様のご理解をいただきたいということです。

委員：説明はよく分かったんですけども、公設民営化だったり民設民営化のメリットデメリットみたいなそういった資料を、この会議でこれを認めてくださいというのはちょっと乱暴なような気がして、やっぱり審議会である以上皆様にご審議いただくということが前提になると思うのです。ですのでもこの第2次村上市施設等整備計画の改定について、ここで決めるのではなくて、また次回等の会議で新たにちょっと、私たちそういう民設民営化がどんなメリットがあつてこんな良いことがあつて、だけれどもこういったところがデメリットですよっていうような、分かりやすい資料が出てくれば納得できると思うのですかね、どうして村上市さんの是非進めたいのかというところが納得できると思うので、少し時間をかけて審議しても良いのではないかなと思います。

委員：現在荒川町に住んでいまして、そばにあらかわ保育園があります。そこで民営化になって色んな意見がある。せっかくこの審議会が立ち上がりました。各保育園の代表の方も来ていただいていますから民営化のメリットも当然たくさんあつて、村上市がなぜこうしたいと思っているのかそのあたりの考えを聞くことも大事かと思いますが、それをしっかりと話していただいて全ての保護者の方が納得して進めていけるようにするのが、この審議会の活動のひとつの目的にもなりますので、先ほど市長が大事な子育ての環境を整備するのは村上市の大きな課題だと、そのために皆さんの知恵を、意見を聞きたいと仰っていますので、やはり第2次、第3次どのような会を設置して、どのような提案を村上市の方でなされて、保護者の方にはどのような理解を得ていただいて、ここでさらにこういった意見を集約していただいて出してほしいというのです、2次3次の具体的な計画の見通し、もう少し立てていただきたい。まだ私の中ですっきりしないところがありまして、今聞いた段階だと、第2次の中では、3つの保育園のどこをやっぱり統合するのが重要なんだ

ろうかねと、そこにどの場所に建てたら良いんじゃないのかなという話をもつとかですね、そこで民営化を村上市はちょっと考えているんだけど、こういうメリットがあるんですがどうですかねという提案がなされるとか、いろんなことが考えられますので、2次3次の具体的な計画の中身を示していただいてできるだけ多くの意見を集約する、そして保護者の代表の方には、それぞれの保護者の理解を得て、どのような協力を得たいのかですね、そういうのを出して進めていくのが審議会のあるべき姿なのかなと思いますがいかがでしょうか。

こども課：ただいまのご意見をいただきまして、こちらのほうに関しましても民間の保育園の取り組みについての考え方も整理して分かりやすくしたいと思いますが、先ほども申し上げましたようにこちらの計画であれば、2年後、令和4年度に運営したいというような計画になっておりますし、どこにあるべきかという話になりますと、非常にこちらとしてもどこに建てろという話にはならないというふうなことでございます。ですので今後のスケジュールにおいてもそんなに第2次に時間をかけるのはあまりないのかなと。ただ第3次につきましてはこれから話なので、十分な話し合いの時間はあるのかなというような日程の関係がございまして、そこを踏まえまして次回の審議会につきましては、比較的に早期に開催させていただきたいと考えております。ただこの後ですね、実は保護者への説明会とか地元への説明会とかそういったものを開かないといけないものですから、その辺もありまして第2次の改定についてはそんなに時間をかけることはできないのかなというところでございます。

委員：真心福祉会さんは今どの辺まで話を進めているんでしょうか。令和3年度の工事ということはそもそももう決まっていなくて設計、施工進んでいけないと思うんですけども、先ほど決定ではないと仰っていましたが、それはここで民設民営化が承認されればサクサクと進めていくよということでしょうか。

こども課：サクサクといくかは別にしますけれども、とりあえずはこちらのほうで民設民営という形のものを容認いただきまして、そうすると真心福祉会のほうでも本格的に事業を進められると。ただその段階で保護者への説明とか地元への説明とか、そういった段階でもしかしたらこの事業が進められなくなるという可能性も当然あります。そういったことも踏まえまして事業を決定していないというのはそういうことです。ただこちらについては国とか県とかの支援も入ってくる事業なんですけど、それについてもまだ全然決定しているとかそういったことではありませんので、事業が決定しているということではないんです。ただし、事業の決定に向けて市としては進めていきたいという形で今取り組んでいくところでございまして、そういうことで市のほうでは考えておりますが、先ほど委員のご意見もありましたようにいいところ悪いところ含めてですね、次回の会議に分かりやすいものを配布させていただきたいですが、ただ先ほども言ったようにスケジュール上次回の会議については比較的早

期に開催させていただかなければならないかなというふうに考えております。

委員：因みにその日程の最終決定というか、民設民営化で決めなければいけないというリミットというのはいつなんでしょうか。

こども課：令和3年度の予算の絡みもありますのでギリギリ年内です。

委員：この会議にお声掛けいただき、村上市の保育園の整備とこれからの子どもの将来について民間の保育園も期待している、そういった位置づけでと思い私参画させていただくことにしたのですけれども、今までを見ても印象的に勘違いだったらすみません。真心福祉会さんがこの建設予定地を選んでここに建てるっていう進行が、それを了承してもらうがためのアリバイ作りというか、何かそういったような形で了承ありき、これを作るありきで、それを後押しするための会で、それに向けてそういうような形にしてくれっていう、どうもそういうふうに思えて仕方ないのですが、違いますか。立ち位置はどうなんでしょう。これはある程度なっていてこれを民間から聞いて太鼓判を押した、後押ししたみたいな流れがきて、規定路線で決まっているように見えるんですけども、立ち位置はどうなんでしょう。

こども課：そのように捉えられたら申し訳なかったのですが、まったくそういうようなものではありません。ただ村上市としましてはこの3園をどのようにしていくかと考えているところに、民間のほうから是非したいという話がありましたので、これは村上市の保育のあり方としまして、民間の導入というのは第2次計画の中ではそこまでの想定はしていなかったものですから、計画の中に入っていなかったんですけども、今の時代あって当然のようなものでございますし、こういう是非いい話があるので村上市としてもこの話を進めていきたいということではありますが、2次の計画では先ほども申し上げましたけれどもそこまで想定していなかったものですから、ここにつきましては2次の計画の一部改定について皆さんにご容認いただければと、そうすると私どもも円滑にこちらにつきましても取り組みますというふうなことでございます。ただこれは真心福祉会との話がありましたのでこういう話をさせてもらっていますが、もしなければたぶんこの話はまったくしていないというのが現実のところだと思います。それが本当に審議会自体が第3次に向けてというのがボリュームの大きい所だと思いますので、先ほど伺われたようなアリバイ作りみたいなことを考えているわけでは一切ございませんので、そこだけはご理解ください。

委員：真心福祉会さんはいろんなところで保育園を経営されていますし、老人介護施設経営されるなど大きな母体ですので、安定されて運営されているようですので安心はありますし、村上市のこの保育園情勢、子どもたちの将来のためにこうやってお力を貸していただけることは大変にうれしいことではありますから、私も否定しているわけではないんですね。ただ、その会がありきで進んで誤解されるようなことがあると困るので、一応確認でご質問差し上げました。

会長：委員の皆様いかがでしょうか。特に当事者であります保護者の会の皆さんからご意見いただければうれしく思いますが。差し支えなければ指名させていただきますが。

委員：なかなか難しい内容なので理解ができないことが多くて、私は子どもが年長になったときに会長になったので、まったくわからない状態でこの場にいるので、まだ深く理解していないのですが、分かりやすい内容の資料があるとありがたいです。

会長：大変大切な意見だと思います。私たち委員がしっかり自分の役割は何であるかということがまだちょっとつかみにくいところがございますね。そうなってくると先ほどの委員の意見のような厳しい意見も出て参ります。ですから、委員の皆様のご都合が合えばまた近いうちにということも可能でしょうけれども、この審議会の役割、私たち委員の役割をしっかりと明確にできるような資料をもう少しお願いいたします。もう少しございますか、今の委員の、分かりにくいというところでございます。

こども課：今ほどたくさんのご意見いただきましてありがとうございます。分かりやすい資料であったり、審議会の役割であったりその辺をもう少し整理して、あと郵送でやり取りをしながら次期審議会の中で検討していただくという形にしていきたいと思いますので、それですくお願いしたいと思います。

会長：委員の皆様、今事務局のほうで分かりやすい説明をしてくださるということで、また次の会議になりますけれどもいかがでございましょうか。何かご意見等ございましたらお願いいたします。

委員：まだ個人的にも分からないところがあるので、前の委員が仰っていたように分かりやすい資料があればいいと思います。

委員：話を聞いていて、以前に保育園で働いていたこともあるので話を聞くと分かるところもあるのですが、多分そうでない方は、保育園の園児がどういうふうに割り振られるかというか、園になるかだったり、民設民営公設民営のもであったり、そういうところがまったく分からないところ話を聞くとこの話が分からないのではないかなと。実際私も来る前にこれを見ていて、今日は私は何の話をするために来るのかなというのが正直あったので、事務局さんの方である程度の決まりはあってこういう流れでっていうのがあった場合にはこの資料だけでいいのかもしれないんですけども、そういう知識のない私たちにとっては、どうしていいのかなっていうのが正直なところだと思うので、それを分かりやすくしていただくと助かるなと思いました。

委員：私事ですが、私の孫が今年あらかわ保育園を卒園しまして、小学校へ入学させていただきました。今ほど保育園の民営化について、様々なご意見を拝聴させていただきました。あらかわ保育園が民営化として新しくスタートしたので平成26年度からですので今日のようなお話がありましたのは今から6～7年前の頃です。私も民生委員児童委員として説明会

等に出席させていただき関係皆さまのお話を聞かせていただきました。民営化については、多くの方が心配なさっていました。私もその一人でした。（民営化、企業、営利が優先されないか等。）難しいことは良く解りませんが、全国的な流れ、村上市の様々な事情があったんだと思います。私の心配をよそにスタートして間もなくその心配は解消しました。保育園の数々の催し等を見学させていただき、園長先生と各先生方の意気込みや熱意、園児と一体化が感じました。

孫が3歳ぐらいのとき保育園からことばが少ないとのことで村上小学校にあります「村上市ことばとこころの相談室」やこども発達支援所 はるさんを紹介され両方にお世話になりました。お陰様でジジバカではありますが初めての1学期の算数・国語の全校テストで結果を出してくれました。本当にあらかわ保育園、村上小学校の「村上市ことばとこころの相談室」、こども発達支援所はるさんの先生方の皆様々に心から感謝いたしております。ありがとうございました。

委員：新発田地域振興局で管轄しているエリアで、公設民営ですとか民設民営でいろいろあると思うのですが、県内ですと私どもが管轄しているエリアで阿賀野市さんと聖籠町さんは公立の保育園はありませんので、全て民間の保育園になっております。そういったところで民間の力というのは県内全域に拡がっておりまして、皆さんが思っているほど心配はないのかなと思います。民間の保育園であっても公立の保育園であっても法律を守らなければいけない基準ですとかそういったところは、民間の保育園であっても同じですし、そのあたりの不安は今後資料を出していただけるそうですので、そのあたりの不安は保護者の方にご説明いただければいいかなと思います。私事ですが、子どもが二人おりまして、一人は公立の保育園にいきまして、一人は私立の保育園、どちらもいろいろあるんですが、どちらであっても子どものことを考えてくれる先生方がいっぱいいますので、そういったことを考えて村上市の子どもたちにとっていい方向に進んでいければいいかなと思っております。

会長：今回私たちの審議会の中でもう少し丁寧な資料がほしいという意見がたくさんありました。また委員のほうから、どういう次元のところで話を聞けばいいのか、その辺がまだはっきりしていなくて困っているというご意見もありました。是非ご覧のことを整理して、誰もがわからないといったことがないような次回の会議に向けて資料作りをいただきたいと思います。

こども課：次回会議ではそのように取り組みたいと思います。本日のこの議事の（２）について送らせていただきましたけれども、いろいろご意見をいただきまして次回についての継続審議というような形でさせていただければと思います。

会長：皆様他にご意見ございませんでしょうか。特になければ次の3番目でございますが審議会のスケジュールの案についてお願いいたします。

(3)「審議会スケジュール(案)について」、事務局から説明

会 長：皆さんのほうから質問はありませんか。

(質問等なし)

10 その他

会 長：事務局から「その他」について用意がありましたらご説明をお願いします。

こども課：事務局のほうからは特段案件は用意してございませんでした。皆さんのほうから何かありましたら。

会 長：特にございませんか。特にご意見等無いようでございますから、これ以降の進行は事務局にお願いいたします。

11 次回の委員会日程について

こども課：次回の会議日程であります。先ほどございましたように8月中くらいに調整させていただければということで考えておりますので、また後日、日程調整をしたうえでご案内させていただきます。よろしくお願いします。

12 閉会のあいさつ

午前11時30分 終了